

箴言

Proverbs

旧約聖書

第1章

- 1 イスラエルの王、ダビデの子ソロモンの箴言。
- 2 これは、知恵と訓戒を知り、悟りのことばを理解するため、
- 3 義とさばきと公正において、訓戒を受けて、さとくなるため、
- 4 浅はかな者を賢くし、若い者に知識と思慮を得させるためのもの。
- 5 知恵のある者は聞いて洞察を深め、分別のある者は導きを得る。
- 6 こうして、箴言と比喻、知恵のある者のことばと謎を理解する。
- 7 主を恐れることは知識の初め。愚か者は知恵と訓戒を蔑む。
- 8 わが子よ、父の訓戒に聞き従え。母の教えを捨ててはならない。
- 9 それらは、あなたの頭に戴く美しい花の冠、首にかける飾りだから。
- 10 わが子よ。罪人たちがあなたを惑わしても、それに応じてはならない。
- 11 もし彼らがこう言っても。「一緒に来い。人の血を流すために待ち伏せしよう。咎なき者を、理由なしにひそかに狙い、
- 12 よみのように、彼らを生きたままで呑み込もう。全き者たちを、墓に下る者のようにして。
- 13 値打ちのある物は何でも見つけ出し、奪った物でわれわれの家を満たそう。
- 14 われわれはくじで分け合い、皆で一つの金入れを持とう。」
- 15 わが子よ、彼らと一緒に道を歩いてはならない。彼らの通り道に、足を踏み入れてはならない。
- 16 彼らの足は悪に走り、人の血を流すのに速いからだ。
- 17 網を張るのは無駄なこと。すべて翼あるものの目の前では。
- 18 彼らが待ち伏せしているのは自分の血を流すため、隠れ狙っているのは自らのたましい。
- 19 不正な利得を貪る者の道はみな、このようなもの。それを得る者たちはたましいを取り去られる。
- 20 知恵は大通りで叫び、広場でその声をあげ、
- 21 騒々しい街角で叫び、町の門の入り口で、そのことばを語る。
- 22 「浅はかな者よ、おまえたちは、いつまで浅はかなことを愛するのか。嘲る者は、いつまで嘲ることを欲するのか。分別のない者は、いつまで知識を憎むのか。
- 23 わたしの叱責に立ち返れ。おまえたちにわたしの霊を注ぎ、わたしのことばを知らせよう。
- 24 わたしが呼んだのに、おまえたちは拒んだ。手を差し伸べたのに、耳を傾ける者はなかった。
- 25 おまえたちはわたしの忠告をすべてなおざりにし、わたしの叱責を一つも受け入れなかった。
- 26 わたしも、おまえたちが災難にあうときに笑い、恐怖がおまえたちを襲うとき、あざ笑う。
- 27 恐怖が嵐のようにおまえたちを襲うとき、災難がつむじ風のようにおまえたちに来るとき、苦難と苦悩がおまえたちを襲うとき、
- 28 そのとき、わたしを呼んでも、わたしは答えない。わたしを捜し求めても、見出すことはできない。
- 29 それは、彼らが知識を憎み、主を恐れることを選ばず、

- 30 わたしの忠告を受け入れようとせず、わたしの叱責をことごとく侮ったからだ。
- 31 それで、彼らは自分の行いの実を食らい、自分が企んだことで腹を満たす。
- 32 浅はかな者の背信は自分を殺し、愚かな者の安心は自分を滅ぼす。
- 33 しかし、わたしに聞き従う者は、安全に住み、わざわざを恐れることなく、安らかである。」

第2章

- 1 わが子よ。もしあなたが私のことばを受け入れ、私の命令をあなたのうちに蓄え、
- 2 あなたの耳を知恵に傾け、心を英知に向けるなら、
- 3 もしあなたが悟りに呼びかけ、英知に向かって声をあげ、
- 4 銀のように、これを探し、隠された宝のように探り出すなら、
- 5 そのとき、あなたは主を恐れることをわきまえ知り、神を知ることを見出すようになる。
- 6 主が知恵を与え、御口から知識と英知が出るからだ。
- 7 主は正直な人のために、すぐれた知性を蓄え、誠実に歩む人たちの盾となり、
- 8 公正の道筋を保ち、主にある敬虔な人たちの道を守られる。
- 9 そのとき、あなたは義とさばきと公正を、またすべての良い道筋をわきまえ知る。
- 10 知恵があなたの心に入り、知識がたましいに喜びとなるからだ。
- 11 思慮はあなたを守り、英知はあなたを保つ。
- 12 それらはあなたを悪の道から、ねじれごとを語る者たちから救い出す。
- 13 その者たちはまっすぐな進路を捨てて闇の道に歩み、
- 14 悪を行うことを楽しみとし、悪しきねじれごとを喜んでいる。
- 15 その進む道は曲がり、彼らは道筋を誤る。
- 16 また思慮と英知は、あなたをよその女から、ことばの滑らかな見知らぬ女から救い出す。
- 17 この女は若いころの連れ合いを捨てて、自分の神との契約を忘れている。
- 18 彼女の家は死へと、その道筋は死者の霊の国へと下る。
- 19 この女のもとへ行く者はだれも帰って来ない。いのちの道に至ることはない。
- 20 こうして、あなたは善良な人たちの道に歩み、正しい人たちの進む道を守る。
- 21 正直な人たちは地に住まいを得、全き人たちは地に生き残る。
- 22 しかし、悪しき者たちは地から断たれ、裏切り者たちは地から引き抜かれる。

第3章

- 1 わが子よ、私の教えを忘れるな。心に私の命令を保つようにせよ。
- 2 長い日々と、いのちと平安の年月が、あなたに増し加えられるからだ。
- 3 恵みとまことがあなたを捨てないようにせよ。それをあなたの首に結び、心の板に書き記せ。
- 4 神と人の前に好意を得、聡明であれ。
- 5 心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りに頼るな。

- 6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。
- 7 自分を知恵のある者と考えな。主を恐れ、悪から遠ざかれ。
- 8 それは、あなたのからだに癒やしとなり、あなたの骨に潤いとなる。
- 9 あなたの財産で主をあがめよ。あなたのすべての収穫の初物で。
- 10 そうすれば、あなたの倉は豊かさに満たされ、あなたの石がめは新しいぶどう酒であふれる。
- 11 わが子よ、主の懲らしめを拒むな。その叱責を嫌うな。
- 12 父がいとしい子を叱るように、主は愛する者を叱る。
- 13 幸いなことよ、知恵を見出す人、英知をいただく人は。
- 14 知恵で得るものは金で得るものにまさり、その収穫は黄金にまさるからだ。
- 15 知恵は真珠よりも尊く、あなたが喜ぶどんなものも、それと比べられない。
- 16 知恵の右の手には長寿があり、左の手には富と誉れがある。
- 17 知恵の道は楽しい道。その通り道はみな平安である。
- 18 知恵は、これを握りしめる者にはいのちの木。これをつかんでいる者は幸いである。
- 19 主は知恵をもって地の基を定め、英知をもって天を堅く立てられた。
- 20 主の知識によって深淵は張り裂け、雲は露を滴らせる。
- 21 わが子よ、見失ってはならない。知性と思慮をよく見守れ。
- 22 それらは、たましいのいのちとなり、あなたの首に麗しさを添える。
- 23 こうして、安心して自分の道を歩み、あなたの足はつまずかない。
- 24 横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは心地よい。
- 25 にわかに起こる恐怖に、悪しき者たちの来襲に、おびえるな。
- 26 主があなたの頼みであり、足が畏にかからないように、守ってくださるから。
- 27 あなたの手に善を行う力があるとき、受けるべき者にそれを控えてはならない。
- 28 あなたに物があるとき、隣人に向かって、「帰って、また来なさい。明日あげよう」と言うな。
- 29 隣人が、あなたのそばで安心して住んでいるとき、その人に悪を企むな。
- 30 あなたに悪い仕打ちをしていないのなら、理由もなく人と争うな。
- 31 暴虐を行う者を羨むな。彼の道をどれ一つ選ぶな。
- 32 主は、曲がった者を忌み嫌い、直ぐな人と親しくされるからだ。
- 33 悪しき者の家には、主ののろいがある。正しい人の住まいは、主が祝福される。
- 34 嘲る者を主は嘲り、へりくだった者には恵みを与えられる。
- 35 知恵のある者は誉れを受け継ぎ、愚かな者は恥辱を高く掲げる。

第4章

- 1 子たちよ、父の訓戒に聞き従え。耳を傾け、悟りを得よ。
- 2 私が良い教訓をあなたがたに授けるからだ。私の教えを捨ててはならない。
- 3 私が、父にとっては息子であり、母にとっては、かよわいひとり子であったとき、

- 4 父は私を教えて言った。「私のことばがおまえの心を支えるように。私の命令を守って生きよ。
- 5 知恵を得よ。悟りを得よ。忘れてはならない。私の口のことばからそれてはならない。
- 6 知恵を捨てるな。これがあなたを守る。これを愛せ。これがあなたを保つ。
- 7 知恵の初めに、知恵を買え。あなたが得たものすべてに換えて、悟りを買え。
- 8 それを尊べ。それはあなたを高める。それを抱きしめると、それはあなたに誉れを与える。
- 9 それは頭に麗しい花の冠を与え、輝かしい冠をあなたに授ける。」
- 10 わが子よ、聞け。私の言うことを受け入れよ。そうすれば、あなたのいのちの年月は増す。
- 11 私は知恵の道をあなたに教え、まっすぐな道筋にあなたを導いた。
- 12 あなたが歩むとき、その歩みは妨げられず、走っても、つまずくことはない。
- 13 訓戒を握りしめて、手放すな。それを保て。それはあなたのいのちだから。
- 14 悪しき者たちの進む道に入るな。悪人たちの道を行ってはならない。
- 15 それを無視せよ。そこを通るな。それを避けて通れ。
- 16 まことに、彼らは悪を行わなければ眠れず、人をつまずかせなければ、その眠りが奪われる。
- 17 まことに、彼らは不義のパンを食べ、暴虐の酒を飲む。
- 18 正しい人の進む道は、あけぼのの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。
- 19 悪しき者の道は暗闇のよう。彼らは何につまずくかを知らない。
- 20 わが子よ、注意して私のことばを聞け。私の言うことに耳を傾けよ。
- 21 それらを見失うな。自分の心のただ中に保て。
- 22 それらは、見出す者にとっていのちとなり、全身の癒やしとなるからだ。
- 23 何を見張るよりも、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれから湧く。
- 24 曲がったことを言う口をあなたから取り除き、ゆがんだことを言う唇をあなたから遠ざけよ。
- 25 あなたの目が前方を見つめ、まぶたがまっすぐ前を向くようにせよ。
- 26 あなたの足の道筋に心を向けよ。そうすれば、あなたのすべての道は堅く定まる。
- 27 右にも左にもそれてはならない。あなたの足を悪から遠ざけよ。

第5章

- 1 わが子よ、注意して私の知恵を聞け。私の英知に耳を傾けよ。
- 2 あなたが思慮深さを守り、あなたの唇が知識を保つために。
- 3 よその女の唇は蜂の巣の蜜を滴らせ、その口は油よりも滑らかだが、
- 4 終わりには苦よもぎのように苦くなり、両刃の剣のように鋭くなるからだ。
- 5 この女の足は死に下って行き、その足取りはよみをつかみ取る。
- 6 その女はいのちの道に心を向けない。彼女が通う道はあてどもなくさまよう。しかし彼女は、それを知らない。
- 7 子たちよ、今、私に聞け。私の口のことばから離れるな。
- 8 あなたの道をこの女から遠ざけ、その家の戸口に近づくな。

- 9 そうでない、あなたは自分の誉れを他人に渡し、あなたの年月を残忍な者に渡すことになる。
- 10 また、他人があなたの富で満たされ、あなたの労苦の実は見知らぬ者の家に渡る。
- 11 そして、あなたの終わりにあなたはうめく。あなたの肉とからだが減びるとき。
- 12 そのとき、あなたは言う。「ああ、私は訓戒を憎み、私の心は叱責を侮った。
- 13 自分の教師の声に聞き従わず、自分を教える者に耳を傾けなかった。
- 14 私は、集会、会衆のただ中であっても、ほとんど最悪の状況であった」と。
- 15 あなた自身の水溜めから水を飲み、流れ出る水を、あなた自身の井戸から。
- 16 あなたの泉を外に散らし、広場を水路にしてよいものか。
- 17 それを自分だけのものにせよ。あなたのところにいる他人のものにするな。
- 18 あなたの泉を祝福されたものとし、あなたの若いときからの妻と喜び楽しむ。
- 19 愛らしい雌鹿、麗しいかもしか。彼女の乳房がいつもあなたを潤すように。あなたはいつも彼女の愛に酔うがよい。
- 20 わが子よ。どうしてよその女に夢中になり、見知らぬ女の胸を抱くのか。
- 21 人の道は主の御目の前にあり、主はその道筋のすべてに心を向けてくださる。
- 22 悪しき者は自分の咎に捕らえられ、自分の罪の縄に捕まえられる。
- 23 その人は訓戒を受け入れることなく死に、あまりの愚かさゆえに道から迷い出る。

第6章

- 1 わが子よ。もし、あなたが隣人のために保証人となり、他人のために誓約をし、
- 2 自分の口のことばによって、自分が罫にかかり、自分の口のことばによって、捕らえられたなら、
- 3 わが子よ、そのときにはすぐにこうして、自分を救い出せ。あなたは隣人の手に陥ったのだから。さあ行って、伏して隣人にしつこくせがめ。
- 4 あなたの目を眠らせず、そのまぶたにまどろみを与えるな。
- 5 自分を救い出せ。かもしかが狩人の手から逃れるように、鳥がそれを捕る者の手から逃れるように。
- 6 怠け者よ、蟻のところへ行け。そのやり方を見て、知恵を得よ。
- 7 蟻には首領もつかさも支配者もないが、
- 8 夏のうちに食物を確保し、刈り入れ時に食糧を集める。
- 9 怠け者よ、いつまで寝ているのか。いつ目を覚まして起き上がるのか。
- 10 少し眠り、少しまどろみ、少し腕を組んで、横になる。
- 11 すると、付きまとう者のように貧しさが、武装した者のように乏しさがやって来る。
- 12 よこしまな者や不法の者は、曲がったことを言って歩き回り、
- 13 目くばせをし、足で合図し、指でさす。
- 14 そのねじれた心は、いつも悪を企み、争いをまき散らす。
- 15 それゆえ、破局は突然やって来る。たちまち彼は滅ぼされ、癒やされることはない。
- 16 主の憎むものが六つある。いや、主ご自身が忌み嫌うものが七つある。

- 17 高ぶる目、偽りの舌、咎なき者の血を流す手、
- 18 邪悪な計画をめぐらす心、悪へと急ぎ走る足、
- 19 まやかしを吹聴する偽りの証人、兄弟の間に争いを引き起こす者。
- 20 わが子よ、あなたの父の命令を守れ。あなたの母の教えを捨ててはならない。
- 21 それをいつも心に結び、首に結び付けよ。
- 22 あなたが歩くときには、それがあなたを導き、寝ているときには、あなたを見守り、目覚めるときには、あなたに話しかける。
- 23 命令はともしび、おしえは光、訓戒のための叱責は、いのちの道であるからだ。
- 24 それはあなたを悪い女から、見知らぬ女の滑らかな舌から守る。
- 25 その女の美しさを心に慕うな。そのまぶたに捕らえられないようにせよ。
- 26 遊女の代償はひとかたまりのパンだが、人妻は尊いいのちをつけ狙うからだ。
- 27 人が火を懐にかき込んだら、その衣服は焼けないだろうか。
- 28 もし人が、燃えている炭火の上を歩いたら、その足は焼けないだろうか。
- 29 隣人の妻と姦淫する者は、これと同じこと。その女に触れる者はだれも罰を免れない。
- 30 盗人が飢え、食欲を満たすために盗みをしたら、人々はその者を蔑まないだろうか。
- 31 見つかったら、彼は七倍を償い、自分の家の全財産を与えなければならない。
- 32 女と姦淫する者は良識がない。自分自身を滅ぼす者がこれを行う。
- 33 彼は傷と恥辱を受ける。彼の汚名は消し去ることができない。
- 34 女の夫は嫉妬から激しく憤り、復讐するとき、容赦をしない。
- 35 彼はどんな償い物も受けつけず、あなたが多くの贈り物をして、受け入れない。

第7章

- 1 わが子よ。私のことばを守り、私の命令をあなたのうちに蓄えよ。
- 2 私の命令を守って生きよ。私の教えを、自分の瞳のように守れ。
- 3 それを自分の指に結び、心の板に書き記せ。
- 4 知恵に向かって「あなたは妹だ」と言い、英知に向かって「身内」と呼べ。
- 5 自分をよその女から守り、ことばの滑らかな、見知らぬ女から守るために。
- 6 私が家の窓から、格子窓から見下ろして、
- 7 浅はかな者たちを見ていると、若者たちのうちに、良識のない一人の若い者がいるのに気づいた。
- 8 彼は、女の家への曲がり角近くの街路を歩いて、その家に至る道を進んで行った。
- 9 それは、たそがれの、日の沈むころ、夜と暗闇の始まるころだった。
- 10 すると、遊女の装いをして、本心を隠したある女が彼を迎えた。
- 11 この女は騒がしく、頑なで、その足は自分の家にとどまらず、
- 12 あるときは通りに、あるときは広場において、あちこちの角のところで待ち構えていた。
- 13 この女は彼を捕まえて口づけし、臆面もなく彼に言う。
- 14 「交わりのいけにえを献げなければならないので、私は今日、自分の誓願を果たしました。
- 15 それで私はあなたに会いに出て来ました。あなたを捜し求めて、やっと見つめました。

- 16 私は長椅子に敷き物を、あや織りのエジプトの亜麻布を敷き、
- 17 寝床を没薬、アロエ、シナモンで香らせました。
- 18 さあ、私たちは朝まで愛に酔いしれ、愛の喜びを互いに味わいましょう。
- 19 夫は遠くへ旅に出ていて、家にはいませんから。
- 20 金の袋を持って行きました。満月のころに帰って来るでしょう」と。
- 21 彼女は心動かすことばで彼を誘惑し、滑らかな唇で彼をいぎなう。
- 22 彼はただちに、彼女の後について行く。牛が屠り場に引かれて行くように、足かせが愚か者を懲らしめているかのように。
- 23 最後は矢が彼の肝を射抜く。それは、自分のいのちがかかっているのを知らずに、鳥が罠に飛び込むようなものだ。
- 24 子たちよ。今、私に聞き従い、注意して私の口のことばを聞け。
- 25 彼女の道に、心がそれて行ってはならない。その通り道に迷い込んではいならない。
- 26 この女は多くの者を切り倒し、殺された者は数えきれない。
- 27 その女の家はよみへの道。死の部屋に下って行く。

第8章

- 1 知恵は呼びかけないだろうか。英知はその声をあげないだろうか。
- 2 知恵は、道の傍らにある丘の上、通りの四つ角に立ち、
- 3 町の入り口にある門のそば、正門の入り口で高らかに言う。
- 4 「人々よ、わたしはあなたがたに呼びかける。人の子らに向かって声をあげる。
- 5 浅はかな者たちよ、賢さを身につけよ。愚かな者たちよ、良識をわきまえよ。
- 6 聞け。わたしは高貴なことを語り、わたしの唇からは公正が出るからだ。
- 7 まことに、わたしの口は真実を告げ、わたしの唇は不義を忌み嫌う。
- 8 わたしの口のことばはみな正しい。そこには、ねじれたことや曲がったことはない。
- 9 これらはみな、悟る者には当然のこと。知識を見出す者には正しいこと。
- 10 金ではなく、わたしの訓戒を受けよ。選り抜きの黄金よりも、知識を受けよ。
- 11 知恵は真珠にまさり、どんな喜びも、これとは比べられないからだ。
- 12 知恵であるわたしは賢さを住まいとする。そこには知識と思慮がある。
- 13 主を恐れることは悪を憎むこと。わたしは高ぶりと、おごりと、悪の道と、ねじれごとを言う口を憎む。
- 14 摂理と知性はわたしのもの。わたしは英知であり、わたしには力がある。
- 15 わたしによって、王たちは治め、君主たちは正義を定める。
- 16 わたしによって、君主たちは支配する。高貴な人々も、義のすべてのさばき人もそうだ。
- 17 わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見出す。
- 18 富と誉れはわたしとともにある。朽ちない財宝も義も。
- 19 わたしの果実は黄金よりも、純金よりも良く、わたしの産物は選り抜きの銀にまさる。
- 20 わたしは義の道を歩む。公正の通り道のただ中を。
- 21 それは、わたしを愛する者に財産を受け継がせ、彼らの宝庫を満たすためである。

- 22 主は、ご自分の働きのはじめに、そのみわざの最初に、わたしを得ておられた。
- 23 わたしは、大昔に、初めに、大地の始まりの前に、立てられていた。
- 24 まだ深淵もなく、水のみなぎる源もなかったとき、わたしは生み出された。
- 25 山が立てられる前に、丘より先に、わたしは生み出された。
- 26 主がまだ地も野原も、世界の最初のちりも造っておられなかったときに。
- 27 主が天を堅く立てられたとき、わたしはそこにいた。主が深淵の面に円を描かれたとき、
- 28 上の方に大空を固め、深淵の源を堅く定められたとき、
- 29 海にその境界を置き、その水が主の仰せを越えないようにし、地の基を定められたとき、
- 30 わたしは神の傍らで、これを組み立てる者であった。わたしは毎日喜び、いつも御前で楽しんでいた。
- 31 主の地、この世界で楽しみ、人の子らを喜んだ。
- 32 子たちよ、今、わたしに聞き従え。幸いなことよ、わたしの道を守る者は。
- 33 訓戒を聞け。知恵を得よ。これをなおざりにしてはならない。
- 34 幸いなことよ。日々わたしの戸の傍らで見張り、わたしの門の柱のわきで見守って、わたしの言うことを聞く人は。
- 35 なぜなら、わたしを見出す者はいのちを見出し、主から恵みをいただくが、
- 36 わたしに背を向ける者は自分自身を痛めつけ、わたしを憎む者はみな、死を愛するからだ。」

第9章

- 1 知恵は自分の家を建て、石の柱を七本、切り出し、
- 2 いけにえを屠り、ぶどう酒を混ぜ合わせ、その食卓も整え、
- 3 侍女たちにことづけて、町の最も高い所で呼びかけさせた。
- 4 「浅はかな者はみな、ここに来なさい」と。また、良識のない者に言った。
- 5 「さあ、わたしのパンを食べなさい。わたしが混ぜ合わせたぶどう酒を飲みなさい。
- 6 浅はかさを捨てて、生きなさい。分別のある道を、まっすぐに歩みなさい」と。
- 7 嘲る者を戒める者は、自分が恥辱を受け、悪しき者を叱る者は、自分が傷を受ける。
- 8 嘲る者を叱るな。彼があなたを憎まないために。知恵のある者を叱れ。彼はあなたを愛する。
- 9 知恵のある者に与えよ。彼はますます知恵ある者となる。正しい人を教えよ。彼は洞察を深める。
- 10 主を恐れることは知恵の初め、聖なる方を知ることは悟ることである。
- 11 わたしによって、あなたの日は多くなり、あなたのいのちの年が加えられるからだ。
- 12 あなたが知恵を得るなら、自分のために知恵を得ることになり、嘲るなら、自分だけが責めを負うことになる。
- 13 愚かな女は騒がしく、わきまえがなく、何も知らない。
- 14 その女は自分の家の戸口に座り、町の高い所にある座に着き、
- 15 道行く人々に呼びかけて言う。自分の道をまっすぐ歩く人々に。

- 16 「浅はかな者はみな、ここに来なさい」と。また良識のない者に向かって、この女は言う。
- 17 「盗んだ水は甘く、こっそり食べるパンはうまい」と。
- 18 しかし彼は、そこに死者の霊がいることを、その女の客がよみの深みにいることを、知らない。

第10章

- 1 ソロモンの箴言。知恵のある子は父を喜ばせ、愚かな子は母の悲しみとなる。
- 2 不義によって得た財宝は役に立たない。義のわざは人を死から救い出す。
- 3 主は正しい人を飢えさせず、悪しき者の欲を突き放される。
- 4 無精者の手は人を貧乏にし、勤勉な者の手は人を富ませる。
- 5 夏のうちに集める者は賢い子。刈り入れ時に眠る者は恥知らずな子。
- 6 正しい人の頭には祝福があり、悪しき者の口は不法を隠す。
- 7 正しい人の呼び名は祝福となり、悪しき者たちの名は朽ち果てる。
- 8 心に知恵のある者は命令を受け入れ、無駄口をたたく愚か者は滅びに落ちる。
- 9 誠実に歩む者の歩みは安全だが、自分の道を曲げる者は思い知らされる。
- 10 目で合図する者は人に痛みをもたらし、無駄口をたたく愚か者は滅びに落ちる。
- 11 正しい人の口はいのちの泉。悪しき者の口は不法を隠す。
- 12 憎しみは争いを引き起こし、愛はすべての背きをおおう。
- 13 悟りのある者の唇には知恵があり、良識のない者の背中にはむちがある。
- 14 知恵のある者は知識を蓄える。愚か者の口には滅びが迫る。
- 15 富む者の財産はその人の堅固な城。貧しい者の恐れは自らの貧困。
- 16 正しい人の報酬はいのち。悪しき者の収穫は罪。
- 17 訓戒を大事にする者はいのちへの道にあり、叱責を捨てる者は人を迷わせる。
- 18 憎しみを隠す者は偽りの唇を持ち、そしりを口に出す者は愚かな者である。
- 19 ことば数が多いところには、背きがつきもの。自分の唇を制する者は賢い人。
- 20 正しい人の舌は選り抜きの銀。悪しき者の心は無価値に等しい。
- 21 正しい人の唇は多くの人を養い、愚か者は良識がないために死ぬ。
- 22 人を富ませるのは主の祝福。人の苦勞は何も増し加えない。
- 23 愚かな者には悪事が楽しみ。英知のある者には知恵が楽しみ。
- 24 悪しき者の恐れることはその身に降りかかり、正しい人の望むことはかなえられる。
- 25 つむじ風が過ぎ去ると、悪しき者はいなくなる。正しい人は永遠の礎である。
- 26 怠け者は、これを遣わす者にとって、齒に酢、目に煙のようなもの。
- 27 主への恐れは日数を増やす。悪しき者の年は短くなる。
- 28 正しい人の望みは喜び。悪しき者の期待は消え失せる。
- 29 主の道は、誠実な人には砦、不法を行う者には滅びである。
- 30 正しい人は永遠に揺るがされることがない。しかし、悪しき者は地に住むことができない。
- 31 正しい人の口は知恵を突らせる。しかし、ねじれた舌は抜かれる。
- 32 正しい人の唇は好意を知っており、悪しき者の口はねじれごとを知っている。

第11章

- 1 欺きの秤は主に忌み嫌われ、正しい重りは主に喜ばれる。
- 2 高ぶりが来れば、辱めも来る。知恵はへりくだる者とともにある。
- 3 直ぐな人の誠実は、その人を導き、裏切り者のよこしまは、その人を破滅させる。
- 4 財産は御怒りの日には役に立たない。義のわざは人を死から救い出す。
- 5 誠実な人の義なるわざは、その人の道を平らにし、悪しき者は、自分の悪事によって倒れる。
- 6 直ぐな人は、その正しさによって救い出され、裏切り者は、自分の欲によって捕らえられる。
- 7 悪者が死ぬとき、その望みは消え失せ、財力への期待も消え失せる。
- 8 正しい人は苦しみから救い出され、彼に代わって悪しき者がそれに陥る。
- 9 神を敬わない者は、その口によって友を滅ぼし、正しい人は、知識によって助け出される。
- 10 町は、正しい人の繁栄に小躍りし、悪しき者が滅びると、喜びの声をあげる。
- 11 直ぐな人の祝福によって、町は高く上げられ、悪しき者の口によって、破壊される。
- 12 隣人を蔑む者は良識がない。英知のある者は沈黙を守る。
- 13 人を中傷して回る者は秘密を漏らすが、霊が忠実な人は事を秘める。
- 14 指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。
- 15 他人の保証人になると苦しみにあう。保証を嫌う者は安全だ。
- 16 優しい女は誉れをつかみ、横暴な者は富をつかむ。
- 17 誠実な人は自分のたましいに報いを得るが、残忍な者は自分の身にわざわざいをもたらす。
- 18 悪しき者は偽りの報酬を得るが、義を蒔く者は確かな賃金を得る。
- 19 実に、義を追い求める者はいのちに至り、悪を追い求める者は死に至る。
- 20 心の曲がった者は主に忌み嫌われ、まっすぐな道を歩む者は主に喜ばれる。
- 21 悪人が罰を免れることは決してない。正しい人の裔は救いを得る。
- 22 豚の鼻にある金の輪。美しいが、たしなみのない女。
- 23 正しい人の願いは、ただ良いこと。悪しき者の望みは、激しい怒り。
- 24 気前よく施して、なお富む人があり、正当な支払いを惜しんで、かえって乏しくなる者がある。
- 25 おおらかな人は豊かにされ、他人を潤す人は自分も潤される。
- 26 穀物売り惜しむ者を民は呪う。しかし、それを売る者の頭には祝福がある。
- 27 熱心に善を求める者は恵みを慕い求める。悪を求める者には悪が来る。
- 28 自分の富に抛り頼む者は倒れ、正しい人は若葉のように芽を出す。
- 29 自分の家族にわざわざいをもたらす者は、風を相続し、愚か者は、心に知恵のある者のしもべとなる。
- 30 正しい人の結ぶ実はいのちの木。知恵のある者は人の心をとらえる。
- 31 正しい人が地で報いを受けるなら、悪しき者や罪人はなおさらのこと。

第12章

- 1 訓戒を愛する人は知識を愛する。叱責を憎む者は間抜け者。
- 2 善人は主から恵みをいただき、悪を企む者は不義に定められる。
- 3 人は悪で身を堅く立てることはできない。正しい人の根は揺るがない。
- 4 しっかりした妻は夫の冠。恥をもたらす妻は、夫の骨の中の腐れのようなだ。
- 5 正しい人の考えは公正。悪しき者の助言は欺瞞。
- 6 悪しき者のことばは血に飢え、心の直ぐな人の口は自分を救い出す。
- 7 悪しき者は打ち倒されて、いなくなる。しかし、正しい人の家は立ち続ける。
- 8 人はその賢明さによってほめられるが、心のねじけた者は蔑まれる。
- 9 身分が低くても、しもべを持つ者は、高ぶっていて食に事欠く者にまさる。
- 10 正しい人は、自分の家畜のいのちを知っている。悪しき者は、そのあわれみさえ残忍である。
- 11 自分の畑を耕す者は食に満足するが、空しいものを追い求める者は良識がない。
- 12 悪しき者は悪人たちの分捕り物を欲しがすが、正しい人の根は芽を出す。
- 13 悪人は唇で背いて罾にかかる。正しい人は苦しみから逃れ出る。
- 14 人は、口のことばによって良いものに満ち足りる。人の手の働きはその人に報いをもたらす。
- 15 愚か者には自分の歩みがまっすぐに見える。しかし、知恵のある者は忠告を聞き入れる。
- 16 愚か者は自分の怒りをすぐ表す。賢い人は辱めを気に留めない。
- 17 真実の申し立てをする人は正しいことを言い、偽りの証人は嘘を告げる。
- 18 軽率に話して人を剣で刺すような者がいる。しかし、知恵のある人の舌は人を癒やす。
- 19 真実の唇はとこしえまでも堅く立つ。偽りの舌はまばたきの間だけ。
- 20 悪を企む者の心には欺きがあり、平和を図る人には喜びがある。
- 21 正しい人には何の害悪も降りかからない。悪しき者はわざわざいで満ちる。
- 22 偽りの唇は主に忌み嫌われ、真実を行う者は主に喜ばれる。
- 23 賢い人は知識を隠し、愚かな者は自分の愚かさを言いふらす。
- 24 勤勉な者の手は支配するが、無精者は苦役に服する。
- 25 心の不安は人を落ち込ませ、親切なことばは人を喜ばせる。
- 26 正しい人はその友の道案内。悪しき者の道は自らを迷わせる。
- 27 無精者は獲物を火であぶらない。勤勉さは人間の貴重な財産である。
- 28 義の道にはいのちがあり、その道筋には死がない。

第13章

- 1 知恵のある子は父の訓戒を聞き、嘲る者は叱責を聞かない。
- 2 人はその口の実によって良きものを食べるが、裏切り者は不法を貪る。
- 3 自分の口を見張る者はたましいを守る。唇を大きく開く者には滅びが来る。
- 4 怠け者の心は欲を起こしても何も得ない。勤勉な者の心は豊かに満たされる。

- 5 正しい人は偽りのことばを憎む。 悪しき者は悪臭を放ち、恥すべきふるまいをする。
- 6 義のわざは誠実な道を保ち、 悪のわざは道を誤らせて罪に導く。
- 7 富んでいるふりをして、何も持たない者がいる。 貧しいふりをして、多くの財産を持つ者がいる。
- 8 富はその人のいのちの身代金である。 しかし、貧しい者は脅しを聞くこともない。
- 9 正しい人の光は輝き、 悪しき者のともしびは消える。
- 10 高ぶりがあると、ただ争いが生じるだけ。 知恵は勧告を聞く者とともにある。
- 11 急に得た財産は減るが、 少しずつ集める者は、それを増す。
- 12 期待が長引くと、心は病む。 望みがかなうことは、いのちの木。
- 13 みことばを蔑む者は身を滅ぼし、 命令を尊ぶ者は報われる。
- 14 知恵のある者のおしえはいのちの泉。 これによって、死の罠から逃れることができる。
- 15 深い思慮は好意を生む。 裏切り者の道は滅びに至る。
- 16 すべて賢い人は知識によって行動し、 愚かな者は自分の愚かさを言い広める。
- 17 悪い使者はわざわいに陥り、 忠実な使者は人を癒やす。
- 18 貧乏と恥は訓戒をなおざりにする者に来る。 しかし、叱責を大事にする者は誉れを得る。
- 19 望みがかなえられるのは心地よい。 愚かな者は悪から離れることを忌み嫌う。
- 20 知恵のある者とともに歩む者は知恵を得る。 愚かな者の友となる者は害を受ける。
- 21 わざわいは罪人を追いかけるが、 正しい人は幸いで報われる。
- 22 善良な人は子孫に遺産を残す。 罪人の財産は正しい人のために蓄えられている。
- 23 貧しい者の耕地に、多くの食糧があっても、それは不当に取り去られる。
- 24 むちを控える者は自分の子を憎む者。 子を愛する者は努めてこれを懲らしめる。
- 25 正しい人は食べてその食欲を満たし、 悪しき者は腹をすかせる。

第14章

- 1 知恵のある女は家而建て、 愚かな女は自分の手でこれを壊す。
- 2 まっすぐ歩む者は主を恐れ、 曲がった道を行く者は主を侮る。
- 3 愚か者の口には、高ぶりへのむち。 知恵のある者の唇は自分を守る。
- 4 牛がいなければ飼葉桶はきれいだが、 豊かな収穫は牛の力による。
- 5 真実な証人は偽りを言わない。 偽りの証人は偽りを吹聴する。
- 6 嘲る者は知恵を求めても得られない。 悟る者には知識を得るのは易しい。
- 7 愚かな者の前を離れ去れ。 知識の唇は、そこに見出せない。
- 8 賢い人の知恵は自分の道をわきまえること。 愚かな者の愚かさは欺きにある。
- 9 愚か者は罪の償いを嘲る。 心の直ぐな人たちの間には恩寵がある。
- 10 心はその人自身の辛さを知っている。 その喜びにほかの者はあずかれない。
- 11 悪しき者の家は滅ぼし尽くされ、 心の直ぐな人の天幕は栄える。
- 12 人の目にはまっすぐに見えるが、 その終わりが死となる道がある。
- 13 笑うときにも心は痛み、 その終わりには、喜びが悲しみとなる。
- 14 心の放埒な者は自分の道に満足する。 善良な人は彼から離れる。

- 15 浅はかな者はどんなことばも信じるが、賢い人は自分の歩みを見極める。
- 16 知恵のある者は慎重で、悪を避けるが、愚かな者は怒りやすく、自信が強い。
- 17 短気な者は愚かなことをし、悪を企む者は憎まれる。
- 18 浅はかな者は愚かさを受け継ぎ、賢い人は知識の冠をかぶる。
- 19 悪人は善良な人の前で、悪しき者は正しい人の門で、身をかがめる。
- 20 貧しい者はその隣人にさえ憎まれるが、富む者は多くの者に愛される。
- 21 自分の隣人を蔑む者は罪人。貧しい者をあわれむ人は幸いだ。
- 22 悪を企む者はさまよわないだろうか。しかし、善を図る者には恵みとまことがある。
- 23 いかなる労苦にも利益がある。無駄口は損失を招くだけ。
- 24 知恵のある者の冠はその者の富。愚かな者の愚かさは、ただ愚かさ。
- 25 真実な証人は人のたましいを救う。欺く者は偽りを吹聴する。
- 26 力ある拠り所は主を恐れることにあり、それは主の子らの避け所となる。
- 27 主を恐れることはいのちの泉、死の罠から離れさせる。
- 28 王の栄えは民が多いこと。君主の滅びは国民がいなくなること。
- 29 怒りを遅くする者には豊かな英知がある。気の短い者は愚かさを増す。
- 30 穏やかな心は、からだのいのち。ねたみは骨をむしばむ。
- 31 弱い者を虐げる者は自分の造り主をそしり、貧しい者をあわれむ者は造り主を敬う。
- 32 悪しき者は自分の悪によって押し倒されるが、正しい人は自分の死の中にも逃げ場がある。
- 33 知恵は悟る者の心のうちに安らぎを得る。愚かな者の間でもそれは知られている。
- 34 正義は国を高め、罪は国民を辱める。
- 35 王の好意は賢明なしもべに、王の激怒は恥知らずの者に。

第15章

- 1 柔らかな答えは憤りを鎮め、激しいことばは怒りをあおる。
- 2 知恵のある者の舌は知識をうまく使い、愚かな者の口は愚かさを吐き出す。
- 3 主の目はどこにもあり、悪人と善人を見張っている。
- 4 穏やかな舌はいのちの木。舌のねじれは霊の破れ。
- 5 愚か者は自分の父の訓戒を侮る。叱責を大事にする者は賢くなる。
- 6 正しい人の家には多くの富がある。悪しき者の収穫はわざわざをもたらす。
- 7 知恵のある者の唇は知識を広める。愚かな者の心はそうではない。
- 8 悪者のいけにえは主に忌み嫌われ、心の直ぐな人の祈りは主に受け入れられる。
- 9 主は悪しき者の道を忌み嫌い、義を追い求める者を愛される。
- 10 道を捨てる者には厳しい懲らしめがあり、叱責を憎む者は死に至る。
- 11 よみと滅びの淵は主の前にある。人の子らの心はなおさらのこと。
- 12 嘲る者は叱られることを好まない。知恵のある者にも近づかない。
- 13 喜んでいる心は、顔色を良くする。心の痛みの中には、打ちひしがれた霊がある。
- 14 悟りのある者の心は知識を求めるが、愚かな者の口は愚かさを食いあさる。

- 15 悩み苦しむ者の毎日は悪いことのみ。心に楽しみのある人には毎日が祝宴。
- 16 わずかな物を持って主を恐れることは、豊かな財宝を持って混乱するよりも良い。
- 17 野菜を食べて愛し合うのは、肥えた牛を食べて憎み合うのにまさる。
- 18 激しやすい者は口論を引き起こし、怒りを遅くする者は争い事を鎮める。
- 19 怠け者の道は茨の生け垣のよう。直ぐな人の進む道は平らな大路。
- 20 知恵のある子は父を喜ばせ、愚かな人はその母を蔑む。
- 21 良識のない者には愚かさが喜び。英知のある者はまっすぐ歩む。
- 22 よく相談しなければ、計画は倒れる。多くの助言者によって、それは成功する。
- 23 適切な返事をするとは、その人の喜び。時宜にかなったことばは、なんと美しいことか。
- 24 賢明な者はいのちの道を上って行く。下にあるよみから離れるためだ。
- 25 主は高ぶる者の家を根こそぎにし、やもめの地境を決める。
- 26 悪人の計画は主に忌み嫌われる。親切なことばは、きよい。
- 27 利得を貪る者は自分の家族を困らせ、賄賂を憎む者は生きながらえる。
- 28 正しい人の心は、どう答えるかを思い巡らす。悪しき者の口は悪を吐き出す。
- 29 主は悪しき者から遠くにおられ、正しい人の祈りを聞かれる。
- 30 目の光は心を喜ばせ、良い知らせは人を健やかにする。
- 31 いのちに至る叱責を聞く耳は、知恵のある者の間に宿る。
- 32 訓戒を無視する者は自分自身をないがしろにする。叱責を聞き入れる者は良識を得る。
- 33 主を恐れることは知恵の訓戒。謙遜は榮譽に先立つ。

第16章

- 1 人は心に計画を持つ。しかし、舌への答えは主から来る。
- 2 人には自分の行いがみな純粋に見える。しかし、主は人の霊の値打ちを量られる。
- 3 あなたのわざを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画は堅く立つ。
- 4 すべてのものを、主はご自分の目的のために造り、悪しき者さえ、わざわいの日のために造られた。
- 5 心の高ぶりはすべて主に忌み嫌われる。断じて罰を免れない。
- 6 恵みとまことによって、咎は赦され、主を恐れることによって、人は悪を離れる。
- 7 主が人の行いを喜ぶとき、敵さえもその人と和らがせる。
- 8 正義によるわずかなものは、不正による多くの収穫にまさる。
- 9 人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、主が人の歩みを確かにされる。
- 10 王の唇には神々しさがある。さばくときに、その口は神の信頼を裏切らない。
- 11 正しい天秤と秤は主のもの。袋の中の重り石もみな、主が造られたもの。
- 12 悪を行うことは王たちの忌み嫌うこと。王座は正義によって堅く立つからだ。
- 13 正しい唇は王たちの喜び。真っ直ぐなことを語る者は愛される。
- 14 王の憤りは死の使い。知恵のある人がそれをなだめる。
- 15 王の顔の光にはいのちがある。彼のいつくしみは後の雨をもたらす密雲のようだ。

- 16 知恵を得ることは、黄金を得るよりはるかに良い。悟りを得ることは、銀を得るよりも望ましい。
- 17 直ぐな人の大路は悪から遠ざかっている。自分のたましいを守る者は自分の道を見張る。
- 18 高慢は破滅に先立ち、高ぶった霊は挫折に先立つ。
- 19 へりくだって、貧しい者とともにいるのは、高ぶる者とともに分捕り物を分け合うのにまさる。
- 20 みことばによく通じた者は幸いを見出す。主に拠り頼む者は幸いである。
- 21 心に知恵のある者は、悟りのある者と呼ばれ、そのことばの心地よさは理解を増し加える。
- 22 賢明さは、これを持つ者にはいのちの泉。愚かさは、愚か者への懲らしめ。
- 23 知恵のある者の心はその口を賢くし、その唇に洞察を深める。
- 24 親切なことばは蜂蜜。たましいに甘く、骨を健やかにする。
- 25 人の目にはまっすぐに見えるが、その終わりが死となる道がある。
- 26 苦勞する者は食欲のために働く。その口が彼を駆り立てるからだ。
- 27 よこしまな者は悪を企む。その唇の上にあるものは焼き尽くす火のようだ。
- 28 ねじれ者は争いを巻き起こし、陰口をたたく者は親しい友を離れさせる。
- 29 暴虐を行う者は自分の隣人を惑わし、良くない道へ導く。
- 30 目で合図する者はねじれごとを企み、唇をすぼめる者は悪をやり遂げた者だ。
- 31 白髪は栄えの冠。それは正義の道に見出される。
- 32 怒りを遅くする者は勇士にまさり、自分の霊を治める者は町を攻め取る者にまさる。
- 33 くじは膝に投げられるが、そのすべての決定は主から来る。

第17章

- 1 乾いたパンが一切れあって平穩なのは、ごちそうと争いに満ちた家にまさる。
- 2 賢明なしもべは、恥知らずな子をも治め、兄弟たちの間において、資産の分け前にあずかる。
- 3 銀にはるつば、金には炉、人の心を試すのは主。
- 4 悪を行う者は邪悪な唇に聞き入り、偽り者は破滅の舌に耳を傾ける。
- 5 貧しい者を嘲る者は自分の造り主をそしる。人の災難を喜ぶ者は罰を免れない。
- 6 孫たちは老人の冠。父祖たちは子らの栄え。
- 7 愚か者に雄弁な舌はふさわしくない。高貴な人に偽りの唇はなおふさわしくない。
- 8 賄賂は、その贈り主の目には宝石。その向かうところ、どこにおいても、うまくいく。
- 9 愛を追い求める者は背きの罪をおおう。同じことを蒸し返す者は親しい友を離れさせる。
- 10 分別のある者を一回叱ることは、愚かな者を百回むち打つよりも効き目がある。
- 11 悪人はただ逆らうことだけを求める。その者には残忍な使者が送られる。
- 12 愚かさにふける愚かな者に会うより、子を奪われた雌熊に出会うほうがましだ。
- 13 善に代えて悪を返すなら、その者の家から悪は離れない。
- 14 口論の始まりは水が吹き出すようなもの。争い事が起こらないうちにやめよ。
- 15 悪しき者を正しいとする者、正しい人を悪いとする者、主はこの両者を忌み嫌われる。

- 16 愚かな者が良識もないのに、知恵を買おうとして、手に代金を持っている。これはどうしたことか。
- 17 友はどんなときにも愛するもの。兄弟は苦難を分け合うために生まれる。
- 18 良識のない人は、すぐ誓約をし、隣人の前で保証人となる。
- 19 背きの罪を愛する者はけんかを愛する。自分の門を高くする者は破滅を求める。
- 20 心の曲がった者は幸いを見つけない。二枚舌の者はわざわざに陥る。
- 21 愚かな者を生む者には悲しみがあり、愚か者の父には喜びがない。
- 22 喜んでいる心は健康を良くし、打ちひしがれた霊は骨を枯らす。
- 23 悪しき者は人の懐から賄賂を受け取り、さばきの道を曲げる。
- 24 悟りのある者はその顔を知恵に向け、愚かな者は目を地の果てに注ぐ。
- 25 愚かな子はその父の憂い、これを産んだ母の痛み。
- 26 正しい人に罰金を科すことが良いことでないなら、高貴な人を実直さゆえに打つのは、なおのこと。
- 27 ことばを控える人は知識を持つ者。霊において冷静な人は英知のある者。
- 28 愚か者でも黙っていれば、知恵のある者と思われ、その唇を閉じていれば、分別のある者と思われる。

第18章

- 1 自らを閉ざす者は自分の欲望のままに求め、すべての知性と仲たがいする。
- 2 愚かな者は英知を喜ばず、自分の心がさらけ出されることを喜ぶ。
- 3 悪しき者が来ると、侮りも来る。辱めとともに、そしりも。
- 4 人の口のことばは深い水。知恵の泉は湧いて流れる川。
- 5 悪しき者をえこひいきすることも、正しい人をさばきで退けることも良くない。
- 6 愚かな者の唇は争い事に入って行き、その口はむち打つ者を呼び寄せる。
- 7 愚かな者の口は自らの滅びを招き、その唇は自分のたましいの畏となる。
- 8 陰口をたたく者のことばは、おいしい食べ物。腹の奥に下って行く。
- 9 自分の仕事をさえ怠ける者は、滅びをもたらす者の兄弟である。
- 10 主の名は堅固なやぐら。正しい人はその中に駆け込み、保護される。
- 11 富む者の財産はその堅固な城。自分ではそそり立つ城壁のように思い描いている。
- 12 人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は栄誉に先立つ。
- 13 よく聞かないで返事をする者は、愚かであり、恥を見る。
- 14 人の霊は病苦も忍ぶ。しかし、打ちひしがれた霊はだれが担えるだろう。
- 15 悟りのある者の心は知識を得、知恵のある者の耳は知識を求める。
- 16 人の贈り物はその人のために道を開き、身分の高い人の前にも彼を導く。
- 17 最初に訴える者は、相手が来て彼を調べるまでは、正しく見える。
- 18 くじは争いをやめさせ、強い者の間に決着をつける。
- 19 反抗する兄弟は堅固な城よりも近寄りにくい。争いは宮殿のかんぬきのようなだ。
- 20 人はその口の結ぶ実によって腹を満たし、その唇の収穫で満ち足りる。

- 21 死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。
- 22 妻を見つける者は幸せを見つけ、主から恵みをいただく。
- 23 貧しい者は哀願するが、富む者は荒々しく答える。
- 24 多くの友に関わる人は身を滅ぼす。しかし、兄弟以上に親密な友人もいる。

第19章

- 1 貧しくても誠実に歩む者は、唇の曲がった愚かな者にまさる。
- 2 たましいに知識がないことは良くない。急ぎ足の者は罪に陥る。
- 3 人の愚かさは自らの道を滅ぼす。その心は主に向かって激しく怒る。
- 4 財産は多くの友を増し加え、貧しい者はその友からも引き離される。
- 5 偽りの証人は罰を免れない。まやかしを吹聴する者も逃れられない。
- 6 高貴な人の好意を求める者は多い。だれもが、贈り物をしてくれる人の友となる。
- 7 貧しい者は自分のすべての兄弟たちに憎まれる。友人が彼から遠く離れるのは、なおさらのこと。彼がことばをもって追い求めても、彼らはいない。
- 8 良識を得る者は自分自身を愛する者。英知を保つ者は幸いを見つける。
- 9 偽りの証人は罰を免れない。まやかしを吹聴する者は滅びる。
- 10 愚かな者にぜいたくな暮らしはふさわしくない。奴隷が君主を支配するのは、なおさらのこと。
- 11 人に賢明さがあれば、怒りを遅くする。その人の栄誉は、背きを見過ごすことにある。
- 12 王の激しい怒りは若い獅子がうなるよう。しかし、その好意は草の上の露のよう。
- 13 愚かな息子は父にとって破滅。妻のいさかい好きは、滴り続ける雨漏り。
- 14 家と財産は先祖から受け継ぐもの。賢明な妻は主からのもの。
- 15 怠惰は人を深い眠りに陥らせ、怠け者は飢える。
- 16 命令を守る者は自分のたましいを保ち、自分の道を蔑む者は死ぬ。
- 17 貧しい者に施しをするのは、主に貸すこと。主がその行いに報いてくださる。
- 18 望みのあるうちに、自分の子を懲らしめよ。しかし、殺そうとまで考えてはならない。
- 19 激しく憤る者は罰を受ける。たとえ彼を救い出しても、ただ、これを繰り返すことになる。
- 20 忠告を聞き、訓戒を受け入れよ。そうすれば、あなたは後で知恵を得る。
- 21 人の心には多くの思いがある。しかし、主の計画こそが実現する。
- 22 人の欲望は自らへの辱め。貧しい人はまやかし者にまさる。
- 23 主を恐れるなら、いのちに至る。満ち足りて住み、わざわざにあわない。
- 24 怠け者は皿に手を伸ばしても、その手を口に持って行こうとさえしない。
- 25 嘲る者を打て。そうすれば、浅はかな者は賢くなる。悟りのある者を叱責せよ。そうすれば、彼は知識をわきまえ知ることになる。
- 26 父に乱暴し、母を追い出す者は、恥と屈辱をもたらす子。
- 27 わが子よ、訓戒を聞くのをやめてみよ。あなたは知識のことばから迷い出ることになる。
- 28 よこしまな証人は、さばきを嘲り、悪しき者の口は、不法を呑み込む。
- 29 さばきは嘲る者のために、むち打ちは愚かな者の背のために備えられている。

第20章

- 1 ぶどう酒は嘲る者。強い酒は騒ぎ立てる者。これにおぼれる者はみな、知恵がない。
- 2 王の恐ろしさは若い獅子がうなるよう。彼を怒らせる者は、代償としてのいのちを失う。
- 3 争いを避けることは人の誉れ。愚か者はみな、争いを引き起こす。
- 4 怠け者は冬に耕さない。刈り入れ時に求めても、何も無い。
- 5 人の心にある計画は深い水。英知のある人はこれを汲み出す。
- 6 多くの人は自分の親切を吹聴する。だれが忠実な人を見つけられるだろうか。
- 7 正しい人は誠実に歩む。彼の子孫はなんと幸いなことか。
- 8 さばきの座に着く王は、自分の目ですべての悪をふるい分ける。
- 9 だれが、「私は自分の心を清めた。私は罪から離れ、きよくなった」と言えるだろうか。
- 10 異なる二種類の重り、異なる二種類の升、そのどちらも主は忌み嫌われる。
- 11 幼子でさえ、何かするとき、その行いが純粋かどうか、真っ直ぐかどうかを識別する。
- 12 聞く耳と見る目は、二つとも主が造られた。
- 13 眠りを愛するな。貧しくならないために。目を開け。そうすればパンに満ち足りる。
- 14 買う者は「悪い、悪い」と言うが、その場を離れると、それを自慢する。
- 15 金があり、多くの真珠があっても、知識の唇こそ宝の器。
- 16 他人の保証人となるときは、その人の上着を取れ。見知らぬ女のためにも、上着を抵当に取れ。
- 17 だまし取ったパンはうまい。しかし、後でその口は砂利でいっぱいになる。
- 18 協議によって計画は確かなものとなる。すぐれた指揮のもとに戦いを交えよ。
- 19 人を中傷して回る者は秘密を漏らす。唇を開く者とは交わるな。
- 20 自分の父や母をののしる者、そのともしびは、闇が近づくと消える。
- 21 初めに急に得た相続財産は、終わりには祝福されない。
- 22 「悪に報いてやろう」と言ってはならない。主を待ち望め。主があなたを救われる。
- 23 異なる二種類の重りは主に忌み嫌われる。欺きの秤は良くない。
- 24 人の歩みは主によって定められる。人はどうして自分の道を悟ることができるだろう。
- 25 軽々しく「これは聖なるもの」と言い、誓願を立てた後で吟味する者は、畏にかかっている。
- 26 知恵のある王は悪しき者をふるいにかけて、彼らの上で車輪を引き回す。
- 27 人間の息は主のともしび。腹の底まで探り出す。
- 28 恵みとまことは王を保つ。恵みによってその王位は支えられる。
- 29 若い男の栄誉は彼らの力。老人の輝きはその白髪。
- 30 傷つくまで打てば、悪は取り除かれる。腹の底まで打ちたたけば。

第21章

- 1 王の心は、主の手の中であって水の流れのよう。主はみこころのままに、その向きを変えられる。

- 2 人には自分の歩みがみなまっすぐに見える。しかし、主は人の心を評価される。
- 3 義と公正を行うことは、主の前で、いけにえより望ましい。
- 4 高ぶる目とおごる心。悪しき者のともしびは罪。
- 5 勤勉な人の計画は利益をもたらし、すべて慌てる者は損失を招くだけだ。
- 6 偽りの舌をもって財宝を得る者は、吹き払われるもやのよう。死を追い求める者だ。
- 7 悪しき者たちは自らの暴力に引きずられる。公正を行おうとしないからだ。
- 8 罪人の道はねじれている。しかし、純粋な人の行いは真っ直ぐだ。
- 9 争い好きな女と一緒に家にいるよりは、屋上の片隅に住むほうがよい。
- 10 悪しき者のたましいは悪事に憧れ、その目に隣人へのあわれみはない。
- 11 嘲る者が罰を受けると、浅はかな者が知恵を得る。知恵のある人が賢くなると、その人は知識を加える。
- 12 正しい方は悪者の家を見抜き、悪者どもをわざわざに導かれる。
- 13 貧しい者の叫びに耳を閉ざす者は、自分が呼ぶときにも答えてもらえない。
- 14 ひそかな贈り物は怒りを鎮め、懐の賄賂は激しい憤りを鎮める。
- 15 公正が行われることは、正しい人には喜び、不法を行う者には恐怖。
- 16 賢明さへの道から迷い出る人は、死者の霊たちの集いで安らぐ。
- 17 快樂を愛する者は貧しい人となり、ぶどう酒や油を愛する者は富むことがない。
- 18 悪しき者が正しい人のための身代金となり、裏切り者が直ぐな人の身代わりとなる。
- 19 争い好きで、苛立つ女といるよりは、荒野に住むほうがまだましだ。
- 20 知恵のある者の住まいには、好ましい財宝と油がある。しかし、愚かな人はこれを呑み尽くす。
- 21 義と恵みを追い求める者は、いのちと義と誉れを見出す。
- 22 知恵のある者は勇士たちの町に攻め上り、その頼みとする砦を崩す。
- 23 自分の口と舌を守る者は、自分自身を守って苦難にあわない。
- 24 横柄で不遜な者、その名は「嘲る者」。彼は憤然として横柄にふるまう。
- 25 怠け者の欲望はその身を殺す。その手が、働くことを拒むからだ。
- 26 この者は一日中、自分の欲望に明け暮れる。しかし、正しい人は人に与えて惜しまない。
- 27 悪しき者のいけにえは忌み嫌われる。悪意をもって献げるときは、なおさらのこと。
- 28 偽りの証人は滅びる。しかし、よく聞く者は正しく語り続ける。
- 29 悪しき者は厚かましいが、直ぐな人は自分の道をわきまえる。
- 30 どんな知恵も英知も、はかりごと、主の前では無きに等しい。
- 31 戦いの日のためには馬が備えられる。しかし、救いは主による。

第22章

- 1 名声は多くの富より望ましく、愛顧を受けることは銀や金にまさる。
- 2 富む者と貧しい者が会おう。どちらもみな、造られたのは主である。
- 3 賢い者はわざわざを見て身を隠し、浅はかな者は入って行って痛い目にあう。
- 4 へりくだりと、主を恐れることの報いは、富と誉れといのち。

- 5 曲がった者の道には茨と罾がある。たましいを守る者はこれらから遠く離れる。
- 6 若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。
- 7 富む者は貧しい者を支配する。借りる者は貸す者のしもべとなる。
- 8 不正を蒔く者はわざわざ刈り取る。こうして彼への激しい怒りのむちは終わる。
- 9 善意の人は祝福を受ける。自分のパンを貧しい者に与えるからだ。
- 10 嘲る者を追い出せ。争いは出て行く。もめごととも辱めも終わる。
- 11 心のきよさを愛し、優しく話をする者は、王がその友となる。
- 12 主の目は知識を見守り、裏切り者のことばをくつがえす。
- 13 怠け者は言う。「獅子が通りにいる。私は広場で殺される」と。
- 14 よその女の口車は深い穴。主の憤りに触れた者がそこに落ち込む。
- 15 愚かさは子どもの心に絡み付いている。懲らしめのむちがこれを子どもから遠ざける。
- 16 自分を富ませるために貧しい人を虐げる者、富む人に与える者—どちらも欠乏に至るのみ。
- 17 耳を傾けて、知恵のある者たちのことばを聞け。私の知識に心を向けよ。
- 18 これらをあなたのうちに保つのは楽しいこと。これらをみな、あなたの唇に備えよ。
- 19 あなたが主に拠り頼むことができるように、私は今日、特にあなたに教える。
- 20 私はあなたのために、勧告と知識についての三十句を書いたではないか。
- 21 これは、あなたに真理のことばの確かさを教え、あなたを遣わした者に、真理のことばを持ち帰らせるためである。
- 22 貧しい者からかすめ取るな。彼が貧しいからといって。苦しむ者を門のところで踏みにじるな。
- 23 主が彼らの訴えを取り上げ、彼らから奪う者のいのちを、奪われるからだ。
- 24 怒りっぽい者と交わるな。激しやすい者と一緒に行くな。
- 25 あなたがその道に倣って、自分が罾にかからないために。
- 26 あなたは人と誓約をしてはならない。負債の保証人となってはならない。
- 27 あなたに償うものがないとき、人があなたの下から寝床を奪ってもよいだろうか。
- 28 昔からの地境を移してはならない。それはあなたの先祖が設けたものだ。
- 29 仕事に熟練した人を見たことがあるか。その人は王の前に立つが、無名の人の前には立たない。

第23章

- 1 あなたが支配者と食事の席に着くときは、前にある物によく注意するがよい。
- 2 あなたが食欲の盛んな人であるなら、自分の喉に短刀を当てよ。
- 3 そのごちそうを欲しがってはならない。それは偽りの食物である。
- 4 富を得ようと苦労してはならない。自分の分別によって、これをやめよ。
- 5 あなたがこれに目を留めると、それはもうないではないか。富は必ず翼をつけて、鷲のように天へ飛んで行く。
- 6 物惜しみする人のパンを食べるな。彼のごちそうを欲しがらな。

- 7 彼は、心のうちでは勘定すくだから。あなたに「食べ、飲め」と言っても、その心はあなたとともにない。
- 8 あなたは、食べた食物を吐き出し、ほめことばを無駄にすることになる。
- 9 愚かな者に話しかけるな。彼はあなたの思慮深いことばを蔑むからだ。
- 10 昔からの地境を移してはならない。みなしごの畑に入り込んではいけない。
- 11 彼らの贖い主は力強く、彼らの訴えを取り上げて、あなたと争うからだ。
- 12 あなたは訓戒に心を用い、知識のことばに耳を傾けよ。
- 13 子どもを懲らしめることを差し控えてはならない。むちで打っても、死ぬことはない。
- 14 あなたがむちでその子を打つなら、その子のいのちをよみから救い出すことができる。
- 15 わが子よ。もし、あなたの心に知恵があれば、私の心も喜び、
- 16 あなたの唇が公正を語るなら、私の心は喜びに躍る。
- 17 心のうちで罪人を羨んではならない。いつも、ただ主を恐れていよ。
- 18 あなたには確かに将来がある。あなたの望みは断たれることはない。
- 19 わが子よ。よく聞いて、知恵を得よ。あなたの心が道をまっすぐ進むようにせよ。
- 20 大酒飲みや、肉を貪り食う者と交わるな。
- 21 大酒飲みや、貪り食う者は貧しくなり、惰眠を貪る者はぼろをまとうようになるからだ。
- 22 あなたを生んだ父の言うことを聞け。あなたの母が年老いても蔑んではならない。
- 23 真理を買え。それを売ってはならない。知恵と訓戒と分別も。
- 24 正しい人の父は心躍らせ、知恵のある子を生んだ人はその子を喜ぶ。
- 25 あなたの父と母を喜ばせ、あなたを産んだ人を楽しませよ。
- 26 わが子よ、あなたの心をわたしにゆだねよ。あなたの目が、わたしの道を喜ぶようにせよ。
- 27 遊女は深い穴、見知らぬ女は狭い井戸だから。
- 28 その女は強盗のように待ち伏せ、人々の間に裏切り者を増やす。
- 29 嘆く者はだれか。悲嘆の中にある者はだれか。争いを好む者はだれか。不平を言う者はだれか。理由もなく傷ついている者はだれか。血走った目をしている者はだれか。
- 30 ぶどう酒をいつまでも飲み続ける者、混ぜ合わせた酒の味見をしに行く者だ。
- 31 ぶどう酒が赤いとき、杯の中で輝くとき、滑らかにこぼれるとき、それを見てはならない。
- 32 後になると、これが蛇のようにかみつき、まむしのように刺す。
- 33 あなたの目は異様な物を見、あなたの心はねじれごとを語り、
- 34 海の真ん中で寝ている人のように、帆柱のてっぺんで寝ている人のようになる。
- 35 「私は打たれたが、痛くなかった。殴られたが、知らなかった。いつ、私は目を覚ますだろうか。もっと飲みたいものだ。」

第24章

- 1 悪い者たちを羨んではならない。彼らとともにいることを望んではならない。
- 2 彼らの心は暴行を企み、唇は邪悪を語るからだ。
- 3 家は知恵によって建てられ、英知によって堅くされる。
- 4 部屋は知識によって、尊く好ましいあらゆる宝物で満たされる。

- 5 知恵のある男は力強い。知識のある人は力を増す。
- 6 あなたはすぐれた指揮のもとに戦いを交え、多くの助言者によって勝利を得る。
- 7 愚か者には知恵は珊瑚のよう。彼は町の門で、口を開くことができない。
- 8 悪事を働こうと企む者は、陰謀家と呼ばれる。
- 9 愚かなはかりごとは罪。嘲る者は人に忌み嫌われる。
- 10 もしあなたが苦難の日に気落ちしたら、あなたの力は弱い。
- 11 死に渡されるために捕らえられた者を救い出し、殺されようとしてよろめき歩く者を助け出せ。
- 12 あなたが「そのことを知らなかった」と言っても、人の心を評価する方は、それを見抜いておられないだろうか。あなたのたましいを見守る方は、それをご存じないだろうか。人の行いに応じて、報いをされないだろうか。
- 13 わが子よ、蜜を食べよ。それはおいしい。蜂の巣の蜜はあなたの口に甘い。
- 14 知恵もあなたのたましいには同じだと知れ。それを見つけるなら、あなたには将来があり、あなたの望みが断たれることはない。
- 15 悪しき者よ、正しい人の住まいを狙うな。彼の伏す所を荒らすな。
- 16 正しい人は七度倒れても、また起き上がり、悪しき者はわざわざいでつまずくからだ。
- 17 あなたの敵が倒れるとき、喜んではならない。彼がつまずくとき、心躍らせてはならない。
- 18 主がそれを見て心を痛み、彼への怒りをやめられるといけなない。
- 19 悪を行う者に対して腹を立てるな。悪しき者を羨むな。
- 20 悪者には将来がなく、悪しき者のともしびは消えるからだ。
- 21 わが子よ、主と王を恐れよ。そうしない者たちと交わってはならない。
- 22 彼らには、突然終局が訪れるからだ。主と王から来るわざわざいをだれが知るだろうか。
- 23 これらも、知恵のある者たちによる。さばくときに、人を偏り見るのは良くない。
- 24 悪者に向かって「あなたは正しい」と言う者を、人々はののしり、国々の民は呪う。
- 25 しかし、悪者を叱責する者たちは喜ばれ、すばらしい祝福が臨む。
- 26 率直な答えをする者は、その唇に口づけされる。
- 27 外であなたの仕事を確かなものとし、あなたの畑を整え、その後で、あなたは家を建てよ。
- 28 あなたは、あなたの隣人に対し、根拠を持たない証人となってはならない。あなたのその唇で惑わそうとするのか。
- 29 「彼が私にしたように、私も彼にしよう。彼の行いに応じて、仕返しをしよう」と言ってはならない。
- 30 私は怠け者の畑のそばを、良識のない者のぶどう畑のそばを通った。
- 31 見よ。茨が一面に生え、いらくさが地面をおおい、その石垣は壊れていた。
- 32 私はこれを見て心に留め、これを見て戒めを受けた。
- 33 少し眠り、少しまどろみ、少し腕を組んで横になる。
- 34 すると、付きまとう者のように貧しさが、武装した者のように乏しさがやって来る。

第25章

- 1 次もソロモンの箴言であり、ユダの王ヒゼキヤのもとにある人々が書き写したものである。
- 2 事を隠すのは神の誉れ。 事を探るのは王たちの誉れ。
- 3 天が高く、地が深いように、王の心は測り知れない。
- 4 銀から金かすを除け。 そうすれば細工人に、良い器ができあがる。
- 5 王の前から悪しき者を除け。 そうすれば、王座は義によって堅く据えられる。
- 6 王の前で横柄にふるまってはならない。 身分の高い人のいる所に立ってはならない。
- 7 高貴な人の前で下に下げられるよりは、「ここに上って来なさい」と言われるほうがよいからだ。 あなたがその目を見たことを
- 8 急いで訴え出るな。 さもないと、後になって隣人があなたに恥ずかしい思いをさせたとき、あなたはどのようなのか。
- 9 あなたは隣人と争っても、ほかの人の秘密を漏らしてはならない。
- 10 そうでないと、聞く者があなたを侮辱し、あなたの悪いうわさは取り返しがつかなくなる。
- 11 時宜にかなって語られることは、銀の彫り物にはめられた金のりんご。
- 12 知恵をもって叱責する者は、聞く者の耳にとって金の耳輪、黄金の飾り。
- 13 忠実な使者は、これを遣わす者にとって、刈り入れ時の冷たい雪のよう。 その人は主人の心を生き返らせる。
- 14 贈りもしない贈り物を自慢する者は、雨を降らせない雲や風のような。
- 15 忍耐強く説けば、首領も納得する。 柔らかな舌は骨を砕く。
- 16 蜜を見つけたら、必要なだけ食べよ。 食べ過ぎて吐き出すことのないように。
- 17 隣人の家にあまり足を運ぶな。 その人がうんざりして、あなたを憎まないように。
- 18 隣人について偽りの証言をする人は、こん棒、剣、また鋭い矢のようだ。
- 19 苦難の日に、裏切り者に拠り頼むのは、悪い歯やよろける足を頼みとするようなもの。
- 20 心配している人の前で歌を歌うのは、寒い日に服を脱ぐようなもの、ソーダの上に酢を注ぐようなものだ。
- 21 あなたを憎む者が飢えているなら、パンを食べさせ、 渴いているなら、水を飲ませよ。
- 22 なぜなら、あなたは彼の頭上に 燃える炭火を積むことになり、主があなたに報いてくださるからだ。
- 23 北風は大雨を起こし、 陰口をたたき舌は怒り顔を生む。
- 24 争い好きな女と一緒に家にいるよりは、 屋上の片隅に住むほうがよい。
- 25 遠い国からの良い消息は、 疲れたたましいへの冷たい水。
- 26 正しい人が悪しき者の前に屈服するのは、 汚された泉、荒らされた井戸のようなもの。
- 27 蜜を食べ過ぎるのは良いことではない。 自分の誉れを探るのは、 誉れあることではない。
- 28 自分の霊を制することができない人は、 城壁のない、打ち破られた町。

第26章

- 1 夏の雪、刈り入れ時の雨のように、 誉れは愚かな者にふさわしくない。
- 2 逃げる雀のように、 飛び去る燕のように、 理由なしに、のろいが来ることはない。

- 3 馬にはむち。ろばにはくつわ。愚かな者の背中にはむち。
- 4 愚かな者には、その愚かさに合わせて答えるな。あなたも彼と同じようにならないためだ。
- 5 愚かな者には、その愚かさに合わせて答えよ。そうすれば彼は、自分を知恵のある者と思わないだろう。
- 6 愚かな者に託して言い送る者は、両足を切られ、暴行を受ける。
- 7 愚かな者が口にする箴言は、足の萎えた者の垂れ下がった足。
- 8 愚かな者に誉れを与えるのは、石投げ器に石を結わえ付けるようなもの。
- 9 愚かな者が口にする箴言は、酔った人が手に取り上げる茨。
- 10 愚かな者や通りすがりの者を雇う者は、だれかれかまわず射抜く射手のよう。
- 11 犬が自分の吐いた物に戻って来るように、愚かな者は自分の愚かさを繰り返す。
- 12 自分を知恵のある者と思っている人を見たか。彼よりも、愚かな者のほうが、まだ望みがある。
- 13 怠け者は「道に獅子がいる。広場に雄獅子がいる」と言う。
- 14 戸はちょうつがいで向きを変える。怠け者は寝床の上で。
- 15 怠け者は皿に手を伸ばしても、その手を口に持って行くのを面倒がる。
- 16 怠け者は、良識ある答えをする七人の者よりも、自分を知恵のある者と思う。
- 17 自分に関係のない争いにいきり立つ者は、通りすがりの犬の耳をつかむ者のようだ。
- 18 気がふれた者は、燃え木を死の矢として投げるが、
- 19 隣人をだましながら、「ただ、戯れただけではないか」と言う者も、それと同じ。
- 20 薪がなければ火が消えるように、陰口をたたく者がいなければ争いはやむ。
- 21 炭火に炭を、火に薪をくべるように、口論好きな人は争いをかき立てる。
- 22 陰口をたたく者のことばは、おいしい食べ物のように、腹の奥に下って行く。
- 23 燃える唇も、心が悪いなら、質の悪い銀を塗った土の器。
- 24 憎んでいる者は、唇で身を装うが、心のうちに欺きを潜めている。
- 25 声を和らげて語りかけてきても、信じるな。その心には七つの忌み嫌われるものがある。
- 26 憎しみはうまくごまかし隠せても、彼の悪は集いの中で現れる。
- 27 穴を掘る者は、自分がその穴に陥り、石を転がす者は、自分の上にそれを転がす。
- 28 偽りの舌は、虐げられている者を憎み、滑らかな口は滅びを招く。

第27章

- 1 明日のことを誇るな。一日のうちに何が起こるか、あなたは知らないのだから。
- 2 自分の口ではなく、ほかの者にあなたをほめさせよ。自分の唇ではなく、よその人によって。
- 3 石は重く、砂にも重みがある。しかし、愚か者の苛立ちはどちらよりも重い。
- 4 憤りは残忍で、怒りはあふれ出る。しかし、ねたみの前には、だれが立ちはだかることができるだろうか。
- 5 あからさまに責めるのは、ひそかに愛するより良い。
- 6 愛する者が傷つけるのは誠実による。憎む者は多くの口づけでもてなす。

- 7 満ち足りている者は蜂の巣の蜜も踏みつけ、 飢えている者には苦い物もみな甘い。
- 8 自分の巣を離れてさまよう鳥のように、 人は自分の家を離れてさまよう。
- 9 香油も香も心を喜ばせる。 友の慰めは自分の考えにまさる。
- 10 あなたの友、あなたの父の友を捨てるな。 あなたが災難にあうとき、兄弟の家に行くな。 近くにいる隣人は、遠くにいる兄弟にまさる。
- 11 わが子よ、知恵を得よ。私の心を喜ばせよ。 そうすれば、私をそしる者に、私は言い返すことができるだろう。
- 12 賢い人はわざわざいを見て身を隠し、 浅はかな者は入って行って痛い目にあう。
- 13 他人の保証人となるときは、その者の服を取れ。 見知らぬ女のためにも、服を抵当に取れ。
- 14 朝早くから、大声で隣人を祝福すると、かえって呪いと見なされる。
- 15 長雨の日に滴り続ける雨漏りは、 争い好きな女に似ている。
- 16 その女を制する者は、風を制し、 右手に油をつかむことができる。
- 17 鉄は鉄によって研がれ、 人はその友によって研がれる。
- 18 いちじくの木番人はその実を食う。 主人の身を守る者は誉れを得る。
- 19 顔が、水に映る顔と同じであるように、 人の心は、その人に映る。
- 20 よみと滅びの地は飽くことがなく、 人の目も飽くことがない。
- 21 銀にはるつぼ、金には炉があるように、 人は他人の称賛によって試される。
- 22 愚か者を臼に入れ、きねでこれを麦と一緒にしても、 その愚かさは彼から離れない。
- 23 あなたの羊の様子をよく知り、 群れを心に留めておけ。
- 24 富は永久に続くものではなく、 王冠も代々に続かないからだ。
- 25 草が刈り取られ、若草が現れ、 山々の青草も集められると、
- 26 子羊はあなたに服を着させ、 やぎは畑の代価となる。
- 27 やぎの乳は十分あって、あなたの食物、あなたの家の者たちの食物となり、あなたの召使いの女たちを養う。

第28章

- 1 悪しき者は、追う者もないのに逃げるが、正しい人は若獅子のように頼もしい。
- 2 国に背きがあるときは、首長が多くなるが、判断力と知識のある一人の人により、安定は続く。
- 3 弱い者を虐げる貧しい者は、押し流して食物を残さない豪雨のようだ。
- 4 おしえを捨てる者は悪しき者をほめる。 おしえを守る者は彼らに敵対する。
- 5 悪人はさばきをわきまえない。 主を尋ね求める者はすべてのことをわきまえる。
- 6 貧しくて、誠実に歩む者は、富んでいて、曲がった道を歩む者にまさる。
- 7 分別のある子はおしえを大切にす。 放蕩する者と交わる者は、父に恥をかかせる。
- 8 利息や高利によって財産を増やす者は、貧しい者たちに恵む者のためにそれを蓄える。
- 9 耳を背けておしえを聞かない者は、その祈りさえ忌み嫌われる。
- 10 直ぐな人を悪い道に迷わす者は、自分の掘った穴に陥る。 しかし、誠実な人たちは幸せを受け継ぐ。

- 11 富む者には自分が知恵のある者に見える。しかし、分別のある貧しい者は、彼を調べる。
- 12 正しい人が喜ぶと、大いなる栄えがあり、悪しき者が立ち上がると、人は身を潜める。
- 13 自分の背きを隠す者は成功しない。告白して捨てる者はあわれみを受ける。
- 14 幸いなことよ、いつも恐れる心を持つ人は。しかし、心を頑なにする者はわざわざに陥る。
- 15 貧しい民を治める悪しき支配者は、うなる雄獅子、襲いかかる熊のようだ。
- 16 英知を欠く君主は、多くの物を強奪する。不正な利得を憎む者は、齢を延ばす。
- 17 流血の咎に苦しむ者は、墓まで逃げる。だれも彼を助けてはならない。
- 18 誠実に歩む者は救われ、その道が曲がっている者はただちに倒れる。
- 19 自分の土地を耕す者は食糧に満ち足り、空しいものを追い求める者は貧しさに満ち足りる。
- 20 忠実な人は多くの祝福を得る。しかし、富を得ようと急ぐ者は罰を免れない。
- 21 人を偏り見るのは良くない。人は一切れのパンで背く。
- 22 貪欲な人は財産を得ようと焦り、欠乏が自分に来るのを知らない。
- 23 人を叱責する者は、後になって、舌でへつらう者よりも恵みを得る。
- 24 父母の物をかすめていながら、「背いていない」と言う者は、滅びをもたらす者の仲間。
- 25 欲の深い人は争いを引き起こす。しかし、主に拠り頼む人は豊かにされる。
- 26 自分の心に頼る者は愚かな者、知恵をもって歩む者は救われる。
- 27 貧しい者に施す者は不足することがなく、目をそらす者は多くののろいを受ける。
- 28 悪しき者が勢いを増すと、人は身を隠し、彼らが滅びると、正しい人が増える。

第29章

- 1 叱責されても、なお、うなじを固くする者は、突然打ち砕かれて、癒やされることがない。
- 2 正しい人が増えると、民は喜び、悪しき者が治めると、民はうめく。
- 3 知恵を愛する人は、その父を喜ばせ、遊女と交わる者は、財産を滅ぼす。
- 4 正義によって王は国を建てる。重税を取る者は国を壊す。
- 5 隣人にへつらう者は、自分の足もとに網を張る。
- 6 悪人は背きを犯して自分に罾をかける。正しい人は声をあげて喜び歌う。
- 7 正しい人は弱い者のためのさばきを知っている。悪しき者はそのような知識をわきまえない。
- 8 嘲る者たちは町を騒がし、知恵のある人たちは怒りを鎮める。
- 9 知恵のある人が愚か者を訴えて争うと、愚か者は怒ってあざ笑い、安まることがない。
- 10 血に飢えた者たちは誠実な人を憎み、心の直ぐな人のいのちを狙う。
- 11 愚かな者は感情のすべてをぶちまけ、知恵のある人はそれを内に収める。
- 12 支配者が偽りのことばに聞き入るなら、従者たちもみな悪しき者になる。
- 13 貧しい者と抑圧する者は出会う。主は、この両者の目に光を与えられる。
- 14 真実をもって弱い者をさばく王、その王座はとこしえまでも堅く立つ。
- 15 むちと叱責は知恵を与える。放っておかれた子は母に恥を見させる。
- 16 悪しき者が増えると、背きも増す。しかし、正しい人は彼らの滅びを見る。
- 17 あなたの子を戒めよ。そうすれば、彼はあなたを安らかにし、あなたの心に喜びを与える。

- 18 幻がなければ、民は好き勝手にふるまう。しかし、みおしえを守る者は幸いである。
- 19 しもべは、ことばだけで戒めることはできない。それが分かってても、反応しない。
- 20 軽率に話をする人を見たか。彼よりも愚かな者のほうが、まだ望みがある。
- 21 自分のしもべを幼い時から甘やかすと、ついには手に負えない者になる。
- 22 怒る者は争いを引き起こす。憤る者には多くの背きがある。
- 23 人の高ぶりはその人を低くし、へりくだった人は誉れをつかむ。
- 24 盗人にくみする者は自分自身を憎む者。その人はのろいを聞いても何も言わない。
- 25 人を恐れると畏にかかる。しかし、主に信頼する者は高い所にかくまわれる。
- 26 支配者の顔色をうかがう者は多い。しかし、人をさばくのは主である。
- 27 不正を行う者は正しい人に忌み嫌われ、行いの真っ直ぐな人は悪しき者に忌み嫌われる。

第30章

- 1 マサの人ヤケの子アグルのことば。イティエルに告げ、イティエルとウカルに告げたことば。
- 2 まことに、私は粗野で、人ではない。私には人間としての分別がない。
- 3 私はまだ知恵も学ばず、聖なる方の知識も持っていない。
- 4 だれが天に上り、また降りて来たのか。だれが風を両手のひらに集めたのか。だれが水を衣のうちに包んだのか。だれが地のすべての限界を堅く定めたのか。その名は何か、その子の名は何か。あなたは確かに知っている。
- 5 神のことばは、すべて精錬されている。神は、ご自分に身を避ける者の盾。
- 6 神のことばに付け足しをしてはならない。神があなたを責めて、あなたが偽り者とされないために。
- 7 二つのことをあなたにお願いします。私が死なないうちに、それをかなえてください。
- 8 むなしいことと偽りのことばを、私から遠ざけてください。貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食物で、私を養ってください。
- 9 私が満腹してあなたを否み、「主とはだれだ」と言わないように。また、私が貧しくなって盗みをし、私の神の御名を汚すことのないように。
- 10 しもべのことを、その主人に中傷してはならない。そうでないと、彼はあなたをののしり、あなたは罰を受けることになる。
- 11 自分の父をののしり、自分の母をたたえない世代。
- 12 自分をきよいと見るが、汚物を洗い落とさない世代。
- 13 なんとも、その目が高ぶり、まぶたが上がっている世代。
- 14 歯が剣のようで、牙が刀のような世代。彼らは、地の苦しむ者を、人々の中の貧しい者を食い尽くす。
- 15 蛭には二人の娘がいて、「くれ、くれ」と言う。飽くことを知らないものが三つある。いや、四つあって、「もう十分だ」と言わない。
- 16 よみ、不妊の胎、水に飽くことを知らない地、「もう十分だ」と言わない火。
- 17 自分の父を嘲り、母への従順を蔑む目は、谷の鳥にえぐり取られ、鷲の子に食われる。
- 18 私にとって不思議なことが三つある。いや、四つあって、私はそれを知らない。

- 19 天にある鷲の道、岩の上にある蛇の道、海の真ん中にある船の道、おとめへの男の道。
- 20 姦淫する女の道もそのとおり。彼女は食べて口をぬぐい、「私は不法を行わなかった」と言う。
- 21 地は三つのことによって震える。いや、四つのことに耐えられない。
- 22 奴隷が王となり、愚か者がパンに満ち足り、
- 23 嫌われた女が夫を得、女奴隷が女主人の代わりとなることだ。
- 24 この地上には小さいものが四つある。それは知恵者中の知恵者だ。
- 25 蟻は力のないものたちだが、夏のうちに食糧を確保する。
- 26 岩だぬきは強くないものたちだが、その巣を岩間に設ける。
- 27 いなごには王はいないが、みな隊を組んで出陣する。
- 28 ヤモリは手で捕まえられるが、王の宮殿にいる。
- 29 歩きぶりの堂々としたものが三つある。いや、堂々と歩くものが四つある。
- 30 獣の中で最も強く、何からも逃げない雄獅子、
- 31 誇らしげに歩くおんどりと雄やぎ、軍隊を引き連れた王。
- 32 もし、あなたが高ぶって、愚かなことをしたり、企んだりしたら、手を口に当てよ。
- 33 乳をかき回すと凝乳ができる。鼻をねじると血が出る。怒りをかき回すと争いが起こる。

第31章

- 1 マサの王レムエルが母から受けた戒めのことば。
- 2 私の子よ、何を語ろうか。私の胎の子よ、何を語ろうか。私の誓願の子よ、何を語ろうか。
- 3 あなたの力を、女たちに費やしてはいけない。王を滅ぼす者たちに、歩みを委ねてはいけない。
- 4 レムエルよ、これは王がすることではない。ぶどう酒を飲むのは王がすることではない。強い酒を飲むのは君主がすることではない。
- 5 酒を飲んで、定められたことを忘れ、苦しむ者みなへのさばきを曲げるといけないから。
- 6 強い酒は滅びようとしている者に、ぶどう酒は心の痛んでいる者に与えなさい。
- 7 その人は飲んで自分の貧しさを忘れ、もう自分の労苦を思い出すことはない。
- 8 口のきけない人のために、口を開きなさい。すべての不幸な人の訴えのために。
- 9 口を開いて、正しくさばき、苦しむ人や貧しい人のためにさばきを行いなさい。
- 10 しっかりした妻をだれが見つけられるだろう。彼女の値打ちは真珠よりもはるかに尊い。
- 11 夫の心は彼女を信頼し、彼は収益に欠けることがない。
- 12 彼女はその一生の間、夫に良いことをし、悪いことをしない。
- 13 羊毛や亜麻を手に入れ、喜んで自分の手でそれを仕上げる。
- 14 商人の船のように、遠い所から食糧を運んで来る。
- 15 夜明け前に起きて、家の者に食事を整え、召使いの女たちに用事を言いつける。
- 16 よく調べて畑を手に入れ、自分の稼ぎでぶどう畑を作り、
- 17 腰に力強く帯を締め、腕に力を入れる。
- 18 収入が良いのを味わい、そのともしびは夜になっても消えない。

- 19 糸取り棒に手を伸ばし、手に糸巻きをつかむ。
- 20 苦しむ人に手を差し出し、貧しい人に手を差し伸べる。
- 21 家の者のために雪を恐れることはない。家の者はみな、紅の衣服で身を包んでいるから。
- 22 自分のための敷き物を作り、衣服は亜麻布と紫の撚り糸でできている。
- 23 夫は町囲みの中で人々によく知られ、土地の長老たちとともに座に着く。
- 24 彼女は亜麻布の衣服を作って売り、また、帯を作って商人に渡す。
- 25 力と気品をまとい、ほほえみながら後の日を待つ。
- 26 知恵をもって口を開き、その舌には恵みのおしえがある。
- 27 家の者の様子をよく見守り、怠惰のパンを食べない。
- 28 その子たちは立ち上がって彼女をたたえ、夫も彼女をほめたたえて言う。
- 29 「力ある働きをする女は多いが、あなたは、そのすべてにまさっている」と。
- 30 麗しさは偽り。美しさは空しい。しかし、主を恐れる女はほめたたえられる。
- 31 彼女の手が稼いだ実を彼女に与え、そのわざを町囲みの中でほめたたえよ。